地域と医療で咲くコミュニケーション

あまが咲だより

2020
12月
No.79

兵庫県立尼崎総合医療センター
Amagasaki General Medical Center (AGMC)

[診療科紹介]
小児脳神経外科

[部門紹介]
こども家族支援室

●[AGMCニュース]
劣化した人工弁の中に新たな人工弁を留置!? 進化続ける
大動脈弁狭窄症に対するカテーテル治療“TAVI”(タビ)

●ぶらり～っと病院探訪　●ご寄附のお願い　●マスク着用のご協力をお願いします
●面会禁止のお願い　●病院敷地内及び敷地の周囲での禁煙の徹底について

小児脳神経外科

新生児から小児期に治療を受けられた成人の方までこどもの脳神経外科の専門家です

医療の専門化が進んだ現在、脳神経外科のなかでも分野ごとにさらに専門性の高いサブスペシャル領域が発達しています。小児脳神経外科はその1つです。当科では小児脳神経外科専門の医師が成人の脳神経外科と一体となって診療を行なっています。脳神経外科各領域のエキスパートと共同することで高度かつ適切な治療を小児から成人まで一貫して行うことができます。

手術室にて／左から：山中、北川

小児脳神経外科 科長

北川 雅史

- 日本小児神経外科学会認定医
- 日本脳神経外科学会専門医
- 日本神経内視鏡学会技術認定医
- がん治療認定医
- 髄腔内バクロフェン（ITB）実施医

構成メンバー

脳神経外科／左から：北川、小柳、高橋、山田、森本、永田、鳴海

提供する活動内容

外来は週1回、月曜日です。緊急の患者さんは随時診察します。こどもの診療では発達・成長の視点を持つことが重要です。小児脳神経外科では手術を行うだけでなく、その後の成長を見守ることが大切です。疾患によっては複数回の段階的手術を行う必要があります。手術後に成長していく過程で再度手術が必要となる場合もあります。このように短期的・長期的な視点の双方を持って、それぞれの患者さんの現在と将来のことを考えて治療を行なっています。

患者さんや地域医療機関へのメッセージ

小児脳神経外科領域では突然発症する疾患、突然悪化する疾患があります。当院では小児集中治療科・小児科・救命救急センターと協力することで、いつでも救急対応可能となっています。お気軽にご相談ください。

部門紹介
こども家族支援室

お子さんとそのご家族をトータルでサポートします

医学的・心理的・社会的な問題に直面しているお子さんとご家族に対して、さまざまな心理的支援や社会資源の情報を提供するのが私たちの役割です。

妊婦の方が安心して出産でき、お子さんのいらっしゃるご家族が安心して育児ができるよう援助をするとともに、お子さんのご病気やご家族の悩みなどの問題を解決するお手伝いをするために、「こども家族支援室」を開設しています。相談をご希望の方は、産婦人科・小児科の外来受付、担当の医師や病棟のスタッフにお申し出ください。安心して相談していただけるように、個別にお話をお伺いします。

出産や子育て
治療に伴う経済的なこと
学校や保育所のこと
周囲からの理解やサポート
入院中や退院後の
生活の問題などでおこまりの方は
ご相談ください

◉スタッフ紹介

左から：
若井 京子（専従事務員）
浅井 鈴子（周産期・小児専従MSW）
渡邉 健太郎（小児外科医長、支援室長）
毎原 敏郎（小児科科長）
井上 美智子（公認心理師）
石原 剛広（小児科医長、児童精神発達）
上垣 萌衣（子ども療養支援士）

検査や治療に対するお子さんの恐怖心・不安が軽減されるように心理的支援を行なっています。また、家で待つきょうだいのこころのサポートにも取り組んでいます。

平成28年度から外来診察と併行して教育関係者研修や生徒向けの授業など医教連携を積極的に行っています。

お子さんとご家族のこころの問題について心理的アセスメントをし、一緒に考えて解決の糸口がつかめるようカウンセリングをしています。

こどもが安心・安全に過ごす環境を整えるため、『Child First』という考え方を院内外の医療従事者や他の関係機関の方々に広めていく啓発活動を続けています。私たちは医療者として「まず労いと支援の気持ちから」をモットーに活動しています。

AGMC ニュース

劣化した人工弁の中に新たな人工弁を留置!?
進化続ける大動脈弁狭窄症に対するカテーテル治療“TAVI”（タビ）

大動脈弁狭窄症とは

大動脈弁とは心臓の出口にある『ふた』であり、これを通して心臓が血液を大動脈に押し出して全身に届けられます。この大動脈弁が加齢などが原因で硬くなって開きが悪くなった病気を『大動脈弁狭窄症』といい、進行して重症になると人工弁に置換することが唯一の救命手段となります。

経カテーテル的大動脈弁留置術

Transcatheter Aortic Valve Implantation ; TAVI

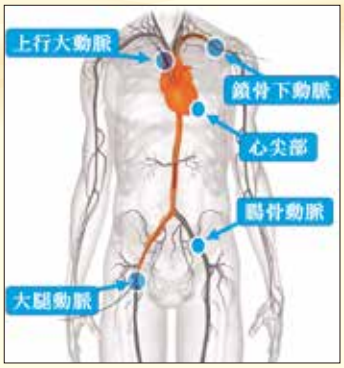
TAVI（タビ）とはカテーテルを使って人工弁を留置する新しい手術法で、従来の手術と異なり、心臓を止めずに行え、人工心肺も不要です。そのため体への負担が軽いのが魅力です。

当院のTAVIの新たな展開

最先端医療

以前の本広報誌でも報告しましたが、TAVI実施施設の中でも厳しい基準を満たした施設のみが認定される希少な『TAVI専門施設』に当院が本年1月に兵庫県で最初に認定されました（11月末時点で兵庫県で当院含めて2施設）が、その後も当院のTAVIは更に進化を続けています。

本治療は基本的には患者さんの生まれ持った大動脈弁が硬化して狭窄を生じた際に実施されますが、外科的に開胸手術で植え込まれた生体弁という種類の人工弁が劣化した場合にも適応可能となりました。ただし、この場合にも通常のTAVIの実施認定以外に追加の基準をクリアして認定された施設でのみ実施可能です。当院ではこの『Valve in Valve』と呼ばれるTAVIも既に導入しており、本治療の実績を有する施設は阪神地区では当院のみとなっております（兵庫県では当院含めて3施設）。



また、ほとんどのTAVI治療では人工弁は鼠径部の動脈から挿入しますが、血管が細いなどの理由で鼠径からのアプローチが困難な場合には、他の部位からの挿入も可能です。具体的な挿入箇所として腸骨動脈（骨盤内にある動脈）、鎖骨下動脈（鎖骨の裏にある動脈）、上行大動脈（心臓のすぐ直上にある動脈）、心尖部（心臓の先端部位）があり、いずれも局所の小切開を行い動脈や心臓の一部を露出して、そこからカテーテルを挿入して人工弁を留置します。この挿入部位についても当院では、どのアプローチも実績を持っており、様々な状態の患者さんに幅広く対応できる体制を整えています。

これからも『専門施設』の称号にふさわしい、更に質の高いTAVIを求めて改良を続けたいと思っています。

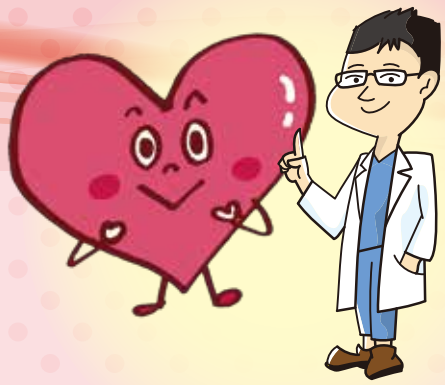
当院のTAVIについてはホームページもご参照ください（AGMC、TAVIで検索してください）。

循環器内科部長　当麻 正直
心臓血管外科部長　大野 暢久
ハートチームスタッフ一同

（画像提供：エドワーズライフサイエンス株式会社、日本メドトロニック株式会社）

ぶらり～っと 病院探訪

心臓リハビリ室



今回は2階Aブロックの心臓リハビリ室を訪ねてみました。心臓リハビリ室は、心疾患の患者さんが外来でリハビリを行うことができる場所となっています。心臓リハビリ室には、自転車エルゴメーターやウォーキングマシーンなどの設備があり、有酸素運動を中心に運動を行っています。

通常のリハビリ室との大きな違いは、運動中に心電図や血圧を確認できる設備が整っているという点です。運動不足や過剰な運動は、心臓にかかる負担を強くします。そのため、運動中の心電図や血圧から心臓への負担を診ることで、患者さんそれぞれに合った運動を提供できるようになっています。

心疾患は、生活習慣を見直すことで再発予防が可能です。心臓リハビリ室では運動だけでなく、患者さんが自己管理をご自身でできるようにサポートしています。

ご寄附のお願い

当院は、地域の皆様とともに、より地域に開かれた病院づくりを進めていくため、寄附を受け入れておりますので、皆様のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

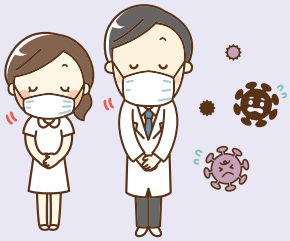
●寄附の使途 ご寄附の趣旨に沿って、当院の運営のための機器購入や臨床研究、スタッフ育成など、幅広く活用させていただきます。

●寄附のお申し込み・お問合せ先
兵庫県立尼崎総合医療センター　総務部総務課
〒660-8550 尼崎市東難波町2-17-77
TEL.06-6480-7000(代表)

ご寄附のお願い

お知らせ掲示板

マスク着用のご協力をお願いします



新型コロナウイルス感染拡大防止のため、外来患者さんをはじめご来院の方には、マスクの着用をお願いしているところです。入院中の患者さんにつきましても病室外に出る際には、医学管理上マスク着用が困難と判断した場合を除き、マスクの着用をお願いすることとしました。このため、入院時にはご自宅でのマスクの準備をしていただきますようご理解とご協力をお願いします。

面会禁止のお願い

ご面会される方へ

当院では面会をお断りしております。ただし、病院から来院をお願いする場合や着替えなどの荷物の受け渡しをする場合は除きます。なお、上記の場合であっても

- 病室に入るのは、1日1名10分以内。
- 病棟に入られる際は、手指消毒とマスクの着用をお願いします。
- 発熱・咳・鼻水などの症状がある場合は来院を堅くお断りします。

ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

病院敷地内及び敷地の周囲での禁煙の徹底について

禁煙
No smoking

このたび、県の受動喫煙の防止等に関する条例が改正され、令和元年7月1日より一部施行されました。当院においては、これまでより敷地内禁煙の遵守に取組んできましたが、禁煙の範囲を、敷地内に限らず、敷地の周囲にも拡大しております。また、紙巻式タバコ、加熱式タバコに加え、電子タバコについても禁煙の対象としており、ご理解のほど、よろしくお願い申し上げます。

編集後記

新型コロナウイルス感染症第3波が全国に広がっています。ウイルスが人類を攻撃しているのではなく、ウイルスが増殖・感染しやすい環境や体内の条件を人類が整えている、という見方もあろうかと思います。日常生活における3密の回避や医学的根拠に基づいた院内感染防止策など、患者様とそのご家族・医療従事者が一丸となった対応策に引き続きご協力をお願い致します。　(K.K.)

兵庫県立尼崎総合医療センター
Hyogo Prefectural Amagasaki General Medical Center (Hyogo AGMC)
〒660-8550 兵庫県尼崎市東難波町二丁目17番77号　TEL 06-6480-7000(病院代表)　FAX 06-6480-7001
URL：http://agmc.hyogo.jp/
兵庫県立尼崎総合医療センター　検索

発行　兵庫県立尼崎総合医療センター　企画協力・デザイン・印刷　兵田印刷工芸株式会社